



シンポジウム「地方の/からのガバナンス」開催について（お知らせ）

開催概要：

社会の変化と共に、地方政治、地域政策のあり方も変化しています。これまで、地方政治・地方自治は、中央政府への依存や対立という視点から、あるいは地域に固有の問題といった枠組みで議論されてきました。従来は依存と自律という二項対立から地方政治は捉えられてきましたが、このシンポジウムでは、それを超えて「地方の」ガバナンスと「地方からの」ガバナンスをテーマに、政治学、情報社会論、工学の第一線の研究者が、地域格差、道州制、定数は正といった種々の課題を論じます。

開催趣旨：

竹中治堅氏（政策研究大学院教授）および西田亮介氏（立命館大学特別招聘准教授）による基調講演に続き、山崎幹根（北海道大学公共政策大学院長・教授）と高野伸栄（同准教授）によるパネル・ディスカッションを開催。「依存」「自立」の二項対立を超えた、地方「の」ガバナンス、地方「からの」ガバナンスを新たなパースペクティブのもとに置きなおして、論じ合います。

日程：2013年6月29日（土）15:00～17:30

場所：北海道大学人文社会科学総合教育研究棟 203号室（札幌市北区北9西7丁目）
札幌駅北口より徒歩10分

主催：北海道大学公共政策大学院

参加対象・募集人数：一般市民・学生 150人

参加費：無料 事前申し込み不要（当日直接お越しください。）

言語：日本語

お問い合わせ先

所属：北海道大学公共政策大学院・院長室 担当：近藤

TEL: 011-706-4723 FAX: 011-706-4723 E-mail: ykondo@hops.hokudai.ac.jp